|  |
| --- |
| 第26回全国私立大学教育研究集会開　催　要　項 |

 　 　　　2015年7月5日

日本私大教連

(日本私立大学教職員組合連合)

　私立大学・短大は学生数で全体の75％を占め、多様な若者の人間的な成長・発達を支え、次代の主権者を育て、社会の発展に大きく貢献しています。しかし私立大学の状況は年を追って厳しさを増しています。定員未充足の増加、採算状態の悪化、募集停止・閉校など、とくに地方・中小規模大学を中心として将来の不透明感や不安感が強まりつつあります。また私立大学生の学費負担の重さは、世帯年収が低下の一途をたどる中で限界に達しており、多くの学生は学費や生活費を得るために時間を費やさざるを得ず、また就職状況の厳しさも加わって、充実した大学生活を送ることが難しい状況にあります。

　私立大学に困難をもたらしている根本的な要因は、政府が長期にわたり私立大学と私立大学生への公財政支出を極めて低水準に抑制し、高等教育費負担を家計に押し付け、一方で「経済競争力強化」に大学を最大限動員するための「改革」政策、競争・淘汰の大学政策を推し進めてきたことにあります。安倍政権は学校教育法・国立大学法人法の改悪や予算の重点配分による政策誘導の抜本的強化、国立大学への露骨な介入などにより、こうした方向をさらに強力に「加速」させています。

そして今、きわめて重大な問題は、日本国憲法の平和原則を大きく捻じ曲げる「戦争法案」をこの9月にも国会内の数の力でなにがなんでも強行成立させようとしていることです。「戦争法案」に対しては、憲法学者をはじめとする広範な研究者、国民市民の各層、地方自治体やマスコミから痛烈な批判が噴出し、国民的な反対運動が巻き起こりつつあります。まさしく、この国のかたちを大きく変えようとする政治勢力と、これを許すまいとする国民市民との激しい衝突のただ中で、この私大教研を迎えることとなります。

このような状況を踏まえ、今回の私大教研集会では、記念講演に憲法学者・水島朝穂さん（早稲田大学教授）を迎え、現下に進行している事態の本質を鋭く分析いただき反転攻勢の道筋を探るとともに、多様な角度から平和・民主主義の課題に取り組んでいる大学関係者に学ぶセッションを設けました。また、改正学校教育法のもとでの新たな民主化闘争、私大政策の多角的な分析と対案、奨学金制度の貧困と学生の困難の打開、職員職場の質の改善などをテーマにしたセッションを設けるなど、これからの「大学のありかた」を考え、私たちが直面している課題にどう取り組んでいくかを学び交流し合える企画を準備しています。多くの方々のご参加を心より呼びかけます。

**目　　次**

**第２教育棟２Ｆ**

**２２０２教室**

|  |  |
| --- | --- |
| Ⅰ　開催日・会場等‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥２Ⅱ　参加費‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥２Ⅲ　参加申込・参加費等の納入方法‥‥‥２Ⅳ　会場へのアクセス‥‥‥‥‥‥‥‥‥３ | Ⅴ　宿泊について‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥４Ⅵ　会期中の昼食・団体保険について‥‥４Ⅶ　セッション紹介‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥５Ⅷ　レポート提出について‥‥‥‥‥‥‥７ |

**Ⅰ　開催日・会場等**

１．名　称‥‥‥‥第26回全国私立大学教育研究集会（略称：全国私大教研）

２．開催日‥‥‥‥2015年8月29日(土)14時00分開会 ～8月31日(月)12時00分閉会

３．会　場‥‥‥‥朱鷺メッセ・新潟コンベンションセンター

（新潟市中央区万代島6-1、TEL 025-246-8400）

４．主　催‥‥‥‥日本私大教連（日本私立大学教職員組合連合）

　　 　 　　　　TEL 03-5285-7243　FAX 03-3208-0430　E-mail info@jfpu.org

５．日　程

|  |  |
| --- | --- |
| 8月29日(土) | 13:00　受付開始　【２階・中会議室２０１前ホワイエ】 |
| 14:00～17:30 全体集会【中会議室２０１】**◇開会行事** **◇記念講演　　安全保障法制とその先にある壊憲（仮題）**　　　　　　　　　＜講師＞　水島朝穂さん（早稲田大学教授）**◇基調報告　　戦後70年、私学振興助成法40年を迎えた私立大学の課題と展望**18:00～20:00　**全体交流会・情報交換会**　【佐渡汽船ターミナル】 |
| 8月30日(日) |  9:00～12:00 セッション　　　　【２階・３階小会議室】13:00～17:00　セッション　　　　　＊当日受付＝２階・小会議室２０２ |
| 8月31日(月) |  9:00～12:00 セッション　　　　【２階・３階小会議室】 |

　　　　　　　　　　　　　　　　（注）各セッションの会場は現地配布の集会プログラムでご案内します。

**Ⅱ　参加費**

１．参加費：１人６,０００円。

２．全体交流会・情報交換会：１人５,０００円（立食・フリードリンク）。

３．未加盟組合から参加される場合は、参加費とは別に集会分担金を拠出いただいています。

　　分担金の額は「参加者が所属する組合の組合員実数×２００円」です。

４．集会期間中の交通費、食事代等は各自のご負担となります。

**Ⅲ　参加申込、参加費等の納入の方法**

**Ａ　全国私大教研の参加申込‥‥「参加申込書」（別紙）を使用**

１．申込時の提出書類は、別紙の「参加申込書」「参加組合の概要」の２枚です。

２．必要事項を漏れなく記入し、申し込み締切日までに関西私大教連にＦＡＸかメール、郵便でお申し込み下さい。

**Ｂ　参加申し込みの締切‥‥８月６日（木）必着**

**Ｃ　参加費、未加盟組合分担金、懇親会費のお支払方法**

振込先＝近畿労働金庫大阪中央支店　普通**８７５４３７２**　関西地区私立大学教職員組合連合

　＊組合費の納入口座とは別口座ですのでお間違えのないようお願いします。

　＊宿泊費については別扱いとなりますのでご注意ください（次項参照）。

**Ⅳ　会場へのアクセス**

○新幹線ご利用の場合

＊新潟駅万代口バスターミナル５番線「朱鷺メッセ経由佐渡汽船行き」に乗車、約15分

　　※8月29日（土）開会時間前後に到着の発車時刻　12:45、13:05、13:35、14:05

＊新潟駅万代口から朱鷺メッセまで、徒歩で約25分、タクシーで約5分です。

　○飛行機ご利用の場合（札幌・大阪・名古屋・福岡から発着便あり）

　　＊新潟空港からリムジンバスで新潟駅南口着（ノンストップ、所要時間約25分）

　　　→新潟駅南口から徒歩で新潟駅万代口に移動、上記バスに乗車。

　　＊新潟空港から朱鷺メッセまでタクシーご利用の場合の所要時間は約20分です。

全体交流会・情報交換会会場



全体会・セッション会場

低層の建物です

**Ⅴ　宿泊について**

日本旅行を通じて下記のホテルを確保しています。これらのホテルをご利用の際は、下記「申込方法」にしたがってお手続ください。一定数・一定期間を仮押さえしている関係で、各ホテル等がウェブで提供している料金よりも若干高めになっておりますが、ご理解ください。なお下記以外のホテルを予約する際には、混雑が予想されますので早めのご予約をお願いします。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| ホテル名 | 確保数 | 料金 | 立地等 |
| 東横イン新潟駅前 | 30 | 29日8000円・30日7500円 | 新潟駅万代口駅前 |
| ホテルターミナルイン | 30 | 29日7500円・30日8000円 | 新潟駅南口より徒歩2分 |
| ターミナルアートイン | 30 | 両日とも8000円 | 新潟駅南口より徒歩2分 |
| ホテルルートイン新潟県庁南 | 70 | 両日とも7400円 | 新潟駅より車で約15分 |

＊部屋はすべてシングルルームです。料金は１泊朝食付き（税・サービス料込み）の値段です。

○申込方法

別紙「宿泊予約申込書」に必要事項を記入の上、「日本旅行」あてにＦＡＸで送付してください。

ＦＡＸ番号**０３-３２２５-１００８**

○申込期間

　７月１３日(月)から８月６日(木)まで。先着順となりますのでお早めにお申し込みください。

○予約確認と宿泊料金のお支払い

　お申し込み後、代表者の方に日本旅行より予約回答、案内書、請求書が送付されますので、その内容にしたがって宿泊料金をお支払いください。

○キャンセル料

　　ご宿泊の2週間前（8月29日宿泊の場合、8月15日以降）からキャンセル料が発生します。ご注意ください。

**Ⅵ　会期中の昼食および団体旅行保険**

**Ａ　８月３０日（集会二日目）の昼食について**

会場に隣接する「朱鷺メッセ万代島ビル」（ホテル日航が入っている高層棟）、佐渡汽船ターミナルなどに飲食店があります（詳細は会場配布の「ランチガイド」を参照）。仕出し弁当（900円前後の予定）も用意します。ご希望の方は「参加申込書」にてご注文ください（代金は当日支払）。

**Ｂ　団体旅行総合保険について**

１．日本私大教連は全国私大教研に団体旅行総合保険(死亡・後遺障害600万円外)を掛けています。

２．保険の申し込みには、氏名・性別・年齢が必要ですので、保険加入をご希望の方は参加申込書に記入漏れのないようご注意ください。

３．保険期間は８月２９日の開会集会開始時から８月３１日のセッション終了時までです。

　　この間に事故が生じた場合は、速やかに集会事務局および日本旅行にご連絡ください。

　　（→　*集会事務局緊急用連絡先　０９０－１１１８－０３９４*）

**Ⅷ　セッション紹介**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 午前（9:00-12:00） | 午後（13:15-17:00） |
| 8/30SUN | １．改正学校教育法と大学自治・教授会自治をめぐる課題 | ４．私大政策をめぐる論点～４つの視点からこれからの私立大学のありようを考える |
| ２．奨学金制度の貧困と学生が抱える困難 | ５．職員の職場の質の改善・向上を考える |
| ３．平和と民主主義をめぐる諸課題と取り組み | ６．不当解雇・権利侵害・不当労働行為とのたたかい |
| 8/31MON | ６．不当解雇・権利侵害・不当労働行為とのたたかい |  |
| ７．大学の管理運営の民主化をもとめるたたかい |

**１．改正学校教育法と大学自治・教授会自治をめぐる課題**

学校教育法改悪は大学にどのような影響を及ぼそうとしているか。学校教育法改悪にともなう「学内規則の改定」に対して、教授会や教職員組合がどのように対抗し、結果としてどのような規則改定が行われたか。それによって、教授会の役割や大学運営がどのように変容しているか。そして、大学運営において教授会（教員集団）が本来的に果たすべき役割を維持・向上させていくうえで、どのような取り組みを進めていくべきか。

日本私大教連中央執行委員会から、私立大学における学内規則の改定状況の全国調査にもとづき、全体的な傾向と課題を報告するとともに、単組から特徴的な状況と取り組みについてレポートしていただきます。また全大教（国公立大学高専の教職員組合）からは、学校教育法改悪の主要なターゲットとされた国立大学で今どのような事態が出来しているか報告いただき、参加者とともに検討を深めます。

**２．奨学金制度の貧困と学生が抱える困難**

　大学の学費、とりわけ私立大学の学費は高額で、かつ公的奨学金制度が非常に貧困なため、日本は先進国に類を見ない「学費負担大国」となっています。そのために多くの学生が相当のアルバイトをすることが常態化する中で、いわゆるブラックバイト問題が社会問題化しています。また奨学金制度の貧困は学生の卒業後の人生に深刻な問題を生じさせています。本セッションではこうした事態の実相を学び、組合運動の課題を考えます。

　　［報告①］　奨学金延滞訴訟や返済相談から浮かび上がる奨学金問題の深刻さと解決策

（報告）　日弁連貧困問題対策本部事務局長・岩重佳治弁護士

　　［報告②］　ブラックバイト問題の実態とたたかい（首都圏青年ユニオンに依頼中）

　　［報告③］　大学での取り組み

**３．平和と民主主義をめぐる諸課題と取り組み　　　レポート募集**

政治の上でも、広範な社会分野においても、平和・民主主義をめぐる危機的状況が急速に広がりつつあります。大学においても、軍事研究の推進、国旗・国歌「要請」、「従軍慰安婦」問題に端を発する大学や教員個人への脅迫など、これまでになかった深刻な問題が生じています。これらに対して、さまざまな分野で学者・研究者が声を上げ、市民各層と共同した取り組みに立ち上がっています。

本セッションでは、こうした取り組みを担っている大学関係者の方々から報告をいただき、私たちのこれからの取り組みについて考え合いたいと思います。

**４．私大政策をめぐる論点～４つの視点からこれからの私立大学のありようを考える**

　本セッションでは、以下の４つの切り口から、政府が推進してきた私大政策の問題を検討し、これに対して私たちが掲げるべき対案について議論を深めます。

［報告①］　「実践的な職業教育を行う新たな高等教育機関」（専門職業大学）の制度化が示す問題と対応

[報告②]　北海道からの問題提起―大学進学率の低下、経営悪化など地方大学が抱える困難と打開の展望

[報告③]　学校法人制度とは何か―私立大学が抱える課題と私立学校法改正提案

[報告④]　私学事業団の「経営判断指標」が内包する重大な問題と私たちの対案

**５．職員の職場の質の改善・向上を考える　　　レポート募集**

大きなテーマを「職場の質の改善・向上を考える」に置き、切り口として以下４つの小テーマを設定します。日本私大教連アンケート調査結果と、単組・個人からのレポートをもとに議論と交流を深めたいと思います。各大学・各職場の状況を持ち寄ることで、問題を多角的に検討し解決方向のヒントを得られるのではないかと考えています。簡単なレポートでもかまいませんので、積極的なエントリーをお願いします。

またセッション終了後は場所を移して、夕食を取りながらざっくばらんに語り合う≪職員交流懇親会≫を企画しています。こちらにもふるってご参加ください。

[レポート①]　過重負担の問題―長時間労働、時間外労働の実態と改善の取り組み

[レポート②]　人員配置の問題―専任職員・非専任職員の人員構造、職務内容の問題と解決方向

[レポート③]　労働環境の問題―有給休暇や育児・介護休業の取得状況（男女問わず）と改善の取り組み

[レポート④]　職員の組合加入をすすめるために―組合のイメージアップ、「ブランディング」をどう図るか

**６．不当解雇・権利侵害・不当労働行為とのたたかい**

　本セッションは次の３報告を軸に、私大における権利闘争の前進を図る方向を深めます。３０日午前・３１日午後の２コマをとってじっくり学び合いたいと思います。

［報告①］　権利闘争の全国状況一覧から見る全体状況

　　　　　　　　　　（報告）　日本私大教連権利闘争対策部長・中村浩也

［報告②］　単組報告　　※今回は事件の類型のバランスを図るため、報告いただく組合を日本私大教連で６つ程度選定し、各地区私大教連を通じて依頼します。

［報告③］　新版「私大教職員のための判例・命令集」編集作業から読み取れる事件の傾向

　　　　　　　　　　（報告）　愛知大学准教授・金井幸子さん（労働法、「判例・命令集」編集委員）

**７．大学の管理運営の民主化をもとめるたたかい　　　レポート募集**

理事会による学園私物化や専断的運営、非民主的運営によって、大学が混乱しまた疲弊する事例が後を絶ちません。本セッションでは、こういった理事会に対して、大学にふさわしい正常な管理運営を行わせることをめざしてたたかっている単組からのレポートにもとづき、私立大学の管理運営のあり方と組合の取り組みの方向性、重視すべき課題などについて議論を行います。

***■*　ポスターセッション募集要項　*■***

　今回初めての試みとしてポスターセッションを設けます。組合・個人・グループ、職種を問わず、教育研究の質向上を図る取り組み、教職員の権利を守る取り組み、社会の諸課題の解決に向けた取り組みなど、どのような分野でも、「教育研究集会にふさわしい！」と思われるテーマであればＯＫです。

会場は会議室を使用し、ポスター展示用パネル（Ａ３サイズ６枚程度貼り付け可能。２枚まで使用可）と机・イスを提供します。署名活動や書籍販売、パンフレット等の配布も可とします。多くのご応募をお待ちしています。

◇開催時間　　 ８月３０日（日）１０時～１７時（コアタイム：１２：４５～１３：１５）

◇応募方法 ・ 申込期間： ７月３１日（金）から８月７日（金）

　　　　　　　　　 ・ 申込方法： ①出展者名、②出展者連絡先、③出展のテーマ・概要を明記し、日本私大教連書記局に電子メール（アドレス：info@jfpu.org）でお申込みください。件名は『教研ポスターセッション応募』としてください。

**Ⅶ　セッションへのレポート提出について**

**Ａ　レポートのお願い**

１．全国私大教研のセッションの成功は、各組合・大学から内容あるレポートが提出されるかどうかにかかっています。

２．「セッション紹介」(５頁)をご覧いただき、積極的にレポートの準備をされるようお願いします。

レポートを募集するセッションは第３，第５，第７セッションとなります。

３．レポートは次項「レポートの形式」に従って作成して下さい。

４．レポートは会場で全参加者に配布する「集会プログラム」に掲載しますので、提出期限をお守りください。

**Ｂ　レポートの形式**（８頁参照）

１．レポートの内容と資料の扱い

　(1) レポートは箇条書きでも構いません。ただし、簡略すぎて内容が判らないということがないようにして下さい。

 (2) 資料が必要な場合は、レポートとは別に用意し、当日セッション会場で配布して下さい。必要部数はセッションにより異なりますので、日本私大教連書記局にお問合せください。

（3）「資料」の現地への送付については次頁－Ｅをご参照ください。

２．用紙・文体・分量

 (1) Ａ４タテ・横書き・である調

 (2) ２頁以内に収めてください。超過の場合は日本私大教連書記局で編集する場合があります。

３．文字サイズ・１行の字数・１頁の行数の目安

 (1) 文字サイズ‥‥本文＝9.5ポイント（タイトル・見出しは任意）

 (2) １行の字数‥‥50字（字間のアキを極力ゼロに設定して下さい）

 (3) １頁の行数‥‥50行

　　＊いちおうの目安ですので、上記分量内であれば自由に設定いただいてけっこうです。

４．マージン(余白)‥‥上下左右とも20mmの余白を設けてください。

５．レポートのフォーム‥‥次頁をご参照ください

**Ｃ　レポート原稿の提出について**

１．提出期限‥‥**８月１７日(月) 必着**

　(1) 提出期限を過ぎると集会プログラムに掲載できなくなり、セッション配布分を各自でご用意いただくことになります。

その際の必要部数はセッションにより異なりますので、日本私大教連書記局にご確認ください。

　(2) レポートを集会参加者全員に配布できるよう、できるかぎり提出期限までにご準備ください。

 (3) セッションの報告でパワーポイントを使用することができますが、集会プログラムに縮小掲載することを考慮し見にくくならないように工夫してください（集会プログラムはモノクロ印刷です）。またパワーポイントの使用を希望する場合はレポート提出時に必ずお申し出ください。

２．提出方法

 日本私大教連へＥメールまたは郵便で送付して下さい。極力、ワードファイル（もしくはワード形式で保存したもの）をＥメール添付にてご提出ください。ファックスは不可です。

 　 ● E-mail　info@jfpu.org　　● 郵送先　〒169-0075 新宿区高田馬場2-5-23-3Ｆ

**Ｄ　レポ－トを直接セッションに持ち込む場合について**

１．レポートの形式‥‥上記ⅦーＢ「 レポートの形式」と同じ

２．レポートの部数‥‥セッション参加者分（当該セッションのみの配布となります）

３．書記局への提出‥‥レポートができ次第、日本私大教連に必ず送付して下さい（ＦＡＸ可）。

　　　●ＦＡＸ＝０３－３２０８－０４３０

４．レポートを現地に事前送付する場合は、次項Ｅに従って送付して下さい。

**Ｅ　資料等の現地送付について**

　レポート、資料をあらかじめ現地に送付する場合は次のようにお願いします。

１．送付期日‥‥必ず８月２７日(木)の到着日指定で送付ください。

２．送 付 先‥‥「〒950-0078　新潟市中央区万代島6-1朱鷺メッセ・新潟コンベンションセンター」宛

　　　　　**※** 梱包の目立つ箇所に「全国私大教研第○セッションレポート在中」と必ず明記して下さい。

**■ レポートのフォーム（Ａ４タテ・横書き）■**

|  |
| --- |
| 余白2㎝　 　　　　　　　　　　　　　（↓セッション名は不要） |
| 余白2㎝ | 第26回全国私大教研レポート　　　　 　　　　　　　　　　　　　　第○セッション 　　　　　　　　　　**レポートのタイトル**組合名　氏　名（本文）**１．用紙・文体・分量**　　**\*** Ａ４タテ・横書き・である調 　**\*** 分量はＡ４＝２枚まで。超えた分は原則としてカットさせていただきます。**２．活字の大きさ・１行の字数・１頁の行数の目安**　　**\*** 本文の活字‥‥9.5ポイント(タイトル・見出し＝任意） 　**\*** １行の字数‥‥50字(字間のアキを極力ゼロに設定する） 　**\*** １頁の行数‥‥50行　　　（※字数・行数は目安です。下記分量内であれば自由に設定してけっこうです）**３．レポートの内容・資料の扱い**　　**\*** レポートは箇条書きでも構いませんが、簡略にしすぎて内容が判らないということがないようにご注意下さい。　　**\*** 資料が必要な場合は、レポートとは別に必要数用意しセッションで配布して下さい。　　**\*** 資料を現地に事前送付する場合は上記をご参照下さい。**４．レポートを直接セッションに持ち込む場合** 　**\*** ５頁－Ｄの指示に従って必要部数作成して下さい。 　**\*** 配布は全員でなく当該セッションだけとなります。 | 余白2㎝ |
| （＊ページ番号不要） |